

前期課程 授業科目の内容

国語学特論Ⅱ(1)(2)

平安時代の一文学作品をテキストに、その作品本文の正確な読解を通して古典文学読解の能力を養い、さらに作品の研究状況を学び、新たな研究の視点を探っていく。あわせて古典研究のための基礎的技術を習得する。

国文学特論Ⅲ(1)(2)

文学研究に関係する現代批評理論のさまざまな操作概念を検討し、あわせて日本近代文学の諸作品を、同時代の社会的文化的文脈に留意しながら分析・考察する。中心的には明治後期から大正にかけての近代文学成立・隆盛期の諸問題を扱う。

国文学演習Ⅲ(1)(2)

大正から昭和にかけて、大きく時代の波がうねり、文学の享受のあり方も著しく変動した。関東大震災、そして二度にわたる戦争と、激動の時代を前に文学はどのように自らの存在意義を問いただしてきたのか、この時期に発表された様々な言語表現資料を使って分析を試みる。

国文学特殊研究Ⅴ(比較文学)(1)(2)

視覚イメージと文芸との関わりをテーマとする。特に『源氏物語』や『御伽草子』などを絵画化した絵巻や絵入り本をとりあげ、物語を視覚化する表現方法や、これらの作品が各時代を通じてどのように享受されてきたかを探る。

国文学特論Ⅴ(比較文学Ⅰ)(1)(2)

19世紀以降の日本における文化的・文芸的事象に関するテキストを取り上げ、これの精読を通して、日本における近代化の実態を理解することを目的とする。とりわけこれらの事象を、同時代的状況との連関の下に理解できるようになることを目指す。

中国文学特論(1)(2) 中国文学演習(1)(2)

中国文学の特質をその時間や空間に対する感じ方、考え方を通じて検討する。できる限り、詩や散文といったジャンルをこえて、また広く一時期に限ることなく比較していく。その際、中国文学が日本文学に大きな影響を与えたことによって考慮検討されなければならない事項を、伝統的な中国学の方法論を体験してみることによって、確認修得する。

国語学演習Ⅱ(1)(2)

日本語の文献資料の読解や調査を通して、書きことばの実態および日本語の歴史の変遷について考察を深める。

国語学特殊研究Ⅰ(1)(2)

日本における文字社会の成立と展開を講じ、あわせて日本語研究の歴史を叙述する。

日本語教育特論Ⅲ(1)(2) 日本語教育演習Ⅱ(1)(2)

一つ目は日本語教育文法を概観し指導力の基礎固めを行う。その目的のために英文で書かれた初級日本語教科書を課題とする。二つ目は日本語教育に関する基礎文献を講読し、広い視点から日本語学習者の習得上の諸問題に対応できるようにしたい。

後期課程 授業科目の内容

古典文学特殊講義(2)

源氏物語や御伽草子など、日本の文学作品を絵画化した、絵巻や絵入本などの物語絵を取り上げ、詞書(テキスト)がどのように絵画化されているかについて論じる。詞書のどの部分が視覚化されているか、或いは、詞書で語られない情報が絵画化されている部分があるか、など、テキストとイメージの交差によって生み出された表現を研究していく。

近現代文学特殊講義(3)

日本における文化的・文芸的事象を理解するには、多くの基礎的な知識や資料解釈の技術を必要とする。それらは時代ごとにおける特徴を有しており、本講義は、そうした基礎・基本について、受講者の関心をふまえて、身につけることを目的とするものである。

近現代文学演習

近代社会において“文学”は、根幹的な役割を与えられた。そのため、とくに近現代の文学を考察するには、文化史的、社会史的な文脈を意識することが重要である。これまでの研究動向を踏まえたうえで、各自の研究テーマを文化的、社会的文脈のなかに位置づけることができるようにする。自らの問題領域を明確にし、研究者として自立できるように、分析考察のより高度な実践的訓練を行う。

国語学・日本語教育演習

国語学の研究史の上にならって、国語学のさまざまな専門研究テーマを取り上げ、理論的、社会的背景に留意しながら、国語学研究者としての実践的な調査、分析、考察能力を習得させる。日本語教育史、および研究史の上にならって、最新の日本語教育の諸問題を取り上げ、教育法のより実践的な対処法を習得するとともに、教育法の理論的展開を考察する。

国文学専攻 研究指導内容及び指定受験科目一覧

指導教員

桐原 健真

KIRIHARA Kenshin

指定受験科目

国文学

研究指導内容 日本文化史・思想史

日本の近代化過程における社会の文化や文芸について、文献資料等を基礎として研究する。

■研究経歴／東北大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。東北大学文学部助教(2004～2013)。

■所属学会／日本思想史学会、日本文芸研究会、日本倫理学会。

■研究業績／単著『松陰の本棚：幕末志士たちの読書ネットワーク』(吉川弘文館、2016年)、共著『高等学校 日本史A 新訂版』(清水書院、2017年、近代日本文化史)、共編著『東アジアにおける公益思想の変容：近世から近代へ』(日本経済評論社、2009年、編集委員)ほか

指導教員

小松 史生子

KOMATSU Shoko

指定受験科目

国文学

研究指導内容 近現代文学、近現代文化

明治以降～令和の現代に至るまで、急激なメディア転換を体験した日本の文学・文化状況を、理論的に分析する。

■研究経歴／東京大学大学院総合文化研究科博士課程後期課程単位取得退学。博士(学術)。

■所属学会／日本近代文学会、昭和文学会、比較文学会。

■研究業績／単著『探偵小説のペルソナ』双文社出版、2015。共編著『〈怪異〉とナショナリズム』青弓社、2022。

指導教員

船田 淳一

FUNATA Junichi

指定受験科目

国文学

研究指導内容 日本思想史・文化史

主に日本古代・中世の宗教思想・宗教文化について、文献史料の緻密な読解に基づく研究を行う。

■研究経歴／佛教学大学院文学研究科博士課程後期課程満期退学。博士(文学)。日本学術振興会特別研究員(2012～2014年)。

■所属学会／日本思想史学会、仏教史学会、日本宗教文化史学会、説話文学会。

■研究業績／単著『神仏と儀礼の中世』(法藏館、2011年)、編著『蔵俊『仏性論文集』の研究』(法藏館、2019年)、「中世宗教思想史研究の現在」(『季刊日本思想史』83号、2019年)、「中世巡礼の精神史」(『日本思想史学』45号、2013年)、「中世死穢説話小考」(『国語国文』76巻11号、2007年)、「貞慶『春日権現講式』の信仰世界」(『日本文学』53巻6号、2003年)。

指導教員

龍澤 彩

RYUSAWA Aya

指定受験科目

国文学

研究指導内容 日本中近世美術史・文化史

主として美術工芸品を起点とし、物語や和歌の造形化、イメージをともなう物語の受容について研究する。

■研究経歴／東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程中退。修士(美術)。徳川美術館学芸員(2001年4月～2012年3月)。

■所属学会／美術史学会。

■研究業績／『すぐわかる源氏物語の絵画』(共著)(東京美術 2009)、『絵巻で読む源氏物語 毛利博物館所蔵『源氏物語絵巻』』(三弥井書店 2017)。「大名家の絵本享受と絵巻・絵入本制作の隆盛について」(『説話文学研究』第49号 説話文学会 2014年10月)。

指導教員

中川 美和

NAKAGAWA Miwa

指定受験科目

国語学

研究指導内容 日本語学・日本語史

日本語の歴史の変遷について、文献資料調査にもとづき分析・考察を行う。

■研究経歴／東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程国文学専攻単位取得満期退学。修士(文学)。東京都立大学助手・助教(1997～2014)。

■所属学会／日本語学会、訓点語学会、日本言語学会。

■研究業績／『為房妻仮名書状の注釈』(共著)(青簡舎、2021)。「久松切和漢朗詠集の和歌部分の表記について」(『日本語史の新視点と現代日本語』勉誠出版、2014)。

指導教員

内山 潤

UCHIYAMA Jun

指定受験科目

日本語教育

研究指導内容 日本語教育学・日本語文法

日本語教育に関わる諸問題について、および談話・テキストレベルでの時間表現について研究の方法や分析手法を指導する。

■研究経歴／東北大学大学院文学研究科単位取得満期退学。文学修士(日本語教育学)。東北大学・助手(2003～2005)。

■所属学会／日本語教育学会、日本語用論学会。

■研究業績／「日本語テキストにおける事象間の時間関係について - 継起性を中心に関連性理論の視点から -」『金城学院大学論集(人文科学編)』第9巻第2号、2013。「日本語テキストにおける出来事個体の構成について」『金城学院大学論集(人文社会編)』第10巻第2号、2014。

担当教員及び担当授業科目

桐原 健真 教授

KIRIHARA Kenshin

[D]近現代文学特殊講義(3)

[M]国文学特殊研究V(比較文学)(1)(2)

船田 淳一 教授

FUNATA Junichi

[M]国文学特殊研究II(1)(2)

中川 美和 教授

NAKAGAWA Miwa

[D]国語学特殊講義(2)

[M]国語学演習I(1)(2)

小松 史生子 教授

KOMATSU Shoko

[D]近現代文学特殊講義(1)

[D]近現代文学演習

[M]国文学特殊研究IV(1)(2)

龍澤 彩 教授

RYUSAWA Aya

[D]古典文学特殊講義(1)

[M]国文学演習III(1)(2)

内山 潤 准教授

UCHIYAMA Jun

[D]国語学・日本語教育演習

[M]日本語教育特論I(1)(2)

[D]後期課程授業科目 [M]前期課程授業科目